



西堀小だより

【校訓】 禮儀（れいぎ） 質朴（しつぽく） 自治（じち）
【教育目標】 やさしく かしく たくましく

10月号 令和8年9月30日発行
児童数 372名
新座市西堀 2-18-3
TEL 042 (491) 6671
FAX 042 (495) 8848

スポーツの秋、その先にある成長

校長 鶴田 千尋

長雨や台風の影響もあり、季節が一気に進んだように感じられます。朝夕には秋風も心地よく、過ごしやすい季節となりました。校庭からは、運動会の練習に励む子供たちの元気な声が聞こえてきます。

運動会

先日開幕したアジア大会では、アジア各国・地域から多くの選手が集い、それぞれの競技で熱戦が繰り広げられています。アジア大会は、第二次世界大戦後、スポーツを通して相互理解を深め、友情と連帯を育むことを願って創設された大会です。

選手たちは国や地域を代表して競技に臨みますが、その意義は勝敗を競うことだけにあるわけではありません。互いの文化や価値観を認め合い、尊重し合うことで、国際親善や平和の実現につなげようという願いが込められています。

学校の運動会もまた、明治時代以降、学校教育の大切な行事として受け継がれてきました。その目的は、体力や技能の向上だけに止まらず、仲間と協力しながら一人一人が役割や責任を果たし、集団の一員として成長することに大きな意義があります。こうした点は、アジア大会の理念とも通じるものがあります。

本校においても運動会では、子供たちは競技や演技、応援や係活動、準備や片付けなど、さまざまな場面で力を発揮します。一つの行事を創り上げる過程の中で、仲間と協働しながら自らの役割を果たそうとす

る姿は、学校が大切にしている学びの形そのものです。

アジア大会が国や地域の違いを越えて人々の理解と交流を深める場であるように、運動会もまた、友達のよさや互いの違いを認め合い、学校全体のつながりを深める機会であってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様におかれましても、競技の結果だけでなく、子供たちが挑戦する姿、協力する姿、そして最後まで粘り強く取り組む姿に温かいご声援をお寄せいただければ幸いです。

自分らしさを発揮して

10月24日は運動会です。子供たちは、日頃の授業や運動会に向けて頑張った表現練習の成果などを披露します。赤組と白組に分かれ、競い合う競技もあります。しかし、勝ち負けだけに拘泥することのないようにしたいものです。

学校には、たくさんの子供がいます。当然に、その一人一人が輝く場面は異なります。走ることが得意な子もいれば、表現することに力を発揮する子、応援や係活動で活躍する子たちです。各々が、自分らしさを生かし、自信をもって力を発揮することが重要です。

運動会本番まで1か月余りの練習期間ですが、けがなどすることのないように、健康管理にも十分注意しながら、全力を出し切れるように指導してまいります。